
フォーゲット

川瀬京一朗

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

フォーゲット

【Zコード】

Z2308D

【作者名】

川瀬京一朗

【あらすじ】

自分の役割・目的・存在理由…考えれば考えるほど、不安だけが増していくた…

あのとき、俺は、退屈を感じていた……

俺は、ずっと自分に疑問を感じていた。

涼宮ハルヒは、何故、俺をSOS団へ入れたのかと……

SOS団の良心。

ハルヒの望んだ日常の姿。

色々考えてはみた……

だが、何故、俺だったのかはいまだにわからない。

もしかすると……

不安がよぎる。

俺が世界を動かしたのではないか?

確証はない。ただの推測にすぎない。

俺は、そんな疑問をあらうことか、古泉に相談していた。

俺は、否定を待っていた。

「ありえない事ではありませんね…」

やつの答えはそれだつた。

しかも、いつものスカした笑顔ではなく、真剣な表情で…

「何故そう思つたのです?」

「ハルヒは、結局、俺たちが隠したために、体験の多さも俺の方が圧倒している。やつの望みはそれで叶つてゐるのかと…」

「確かに。しかし、彼女によつて解決した件も多いはずですよ?」

「ああ。つまり…」

「つまり、涼宮ハルヒに絶対的な能力を与え、自分にはそれをコントロールする力だけあればいい…涼宮ハルヒの能力の根源が定かではない以上、その可能性も否定できない。」

長門：いたのか…

「…ああ。その通りだ。」

「なるほど。そうすれば、彼女で失敗して彼女が危険視されたとしても、その除外をさけることもできる。ある程度自由であれば、あなたにとって予想外のことも起こりやすいでしょうし。力の発現の一つに関わったのもあなたですし。」

「可能性として言つただけだ。」

「ですが、わざわざ僕に話したといふことは、危惧することもあるのでは?」

「もし、予想が当たつていたら…俺の思考が暴走したら…」

「僕に止めると?無理ですね。」

「な!?」

「閉鎖空間ではないのも理由の一つですが、涼宮さんの暴走でも僕

の手には負えませんから。」

恐ろしいことわざりと言いやがる。

「じゃあ、どうすれば？」

「そのときは、涼宮さんによ頼むしかないんじゃないですか？」

「もし、予想通りなら、ハルヒの力よりも…」

「能力だけの問題ではありませんよ。涼宮さんを偶像とはいえ、神に選んだのが、あなたなら…あなたにとつての女神…少なくとも、理想の女性像は、涼宮さんということになりますから。」

「フツ…やはり、この説は間違っていたらしい。忘れてくれ。」

俺は、その場を離れていった。

涼宮ハルヒが理想の女性？

フツ…どうかしてる。

ハルヒのおかげで迷惑ながらも楽しい高校生活を送つてはいるが。

ハルヒが理想の女性などありえない…はずだ…

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2308d/>

フォーゲット

2011年1月28日14時00分発行